

CHINA

1月25日（月）

中国・台湾「緩やかに回復」

輸出に追い風／1月月例報告
1月の月例経済報告で、中国と台湾が「緩やかに回復」との基調判断。諸外国・地域の景気認識で「回復」の表現を使ったのは11カ月ぶり。日本の輸出産業にとっても追い風に。（2面）

資生堂「TSUBAKI」売却

香港ファンド
資生堂は、日用品事業を投資ファンドの香港CVCアジア・パンフィックに売却する検討。「TSUBAKI」などドラッグストアや量販店などで展開する低価格帯が対象。（3面）

サコス、中古建機6割増

中国・東アジア活発化
サコスは、中古建設機械事業の2021年9月期の売上高を、約66%増の10億円に引き上げる。中国経済の回復に伴い、同国や東アジアで中古建機の取引が活発化、需要増に対応。（10面）

防爆電磁弁-中国規格に対応

金子産業／樹脂採用、低コスト化
金子産業は、中国の製品規格・中国強制認証に対応した防爆電磁弁「MK17G-REX」を同国で今春発売する。アクチュエーターパーツに樹脂を採用し、低コスト化。（34面）

銅一禁輸に追加／中国

豪州産標的→代替苦勞せず
中国は、豪州産銅を標的とした事実上の輸入禁止の対象に、銅を追加したようだ。だが、鉱山会社は中国以外の輸出先で買い手を見つけるのに大きな

1月26日（火）

サムスン、米に半導体工場

1兆円投資／テキサス州
韓国サムスン電子は、米国テキサス州に100億ドル（約1兆円）を投じ、最先端のロジック半導体製造工場を建設を検討。米国の顧客を増やし、台湾TSMCに追い付く契機に。（3面）

スマートシティー研究拠点参画

アズビル／ビル自動化実証
アズビルは、シンガポールのスマートシティー関連技術の研究拠点「スマートアーバン共同イノベーションラボ」に参画した。ビルの自動化関連技術の実証などを進める。（10面）

1月26日（火）

サムスンTOP実刑確定

上告断念／出所は来年7月
贈賄罪などで懲役2年6月の実刑判決を受けた韓国サムスングループTOP李在鎔被告（52）側は、上告を断念。残り刑期は約1年6カ月、2021年7月に出所。（時事＝3面）

富士フイルム、インドで健康診断

富士フイルムは、新興国で健康診断サービスに参入。がん検診を中心とした健康センター「NURA」を、インド・ベンガルールに開設する。東南アジア・中東にも展開。（3面）

ケンミン食品、タイ第3工場

焼ピーフン／年2400万食
ケンミン食品は、主力の「焼ピーフン」を製造するタイ工場を拡張した。タイで3棟目となる新工場を稼働。10億円投資。約2倍となる年間2400万食に。成型や箱詰めを自動化。（17面）

1月27日（水）

スズキ、インドで「ジムニー」

中南米・中東・アフリカ輸出
スズキは、インドで小型4WD「ジムニー」（日本名ジムニーセーラ）の生産・輸出を始めた。輸出専用モデルとして中南米や中東、アフリカなどに供給する。（11面）

スズキは、インド子会社（マルチ・スズキ・インド）グルガオン工場でジムニーの生産・輸出を開始＝1月27日付



苦勞はないようだ。（時事＝4面）

1月27日（水）

ファーウェイ、高級スマホ撤退

旗艦ブランド売却へ
中国ファーウェイが、スマートフォンの旗艦ブランド「P」と「Mate」の売却に向け、交渉の初期段階。高級スマホから撤退する可能性。上海市府支援の複数の投資会社。（時事＝3面）

ヨロズ、中国2割増産

サスペンション／日産増産
ヨロズは、自動車用サスペンションの中国工場の生産能力を20%程度引き上げる。主要供給先の日産自動車による中国増産に対応する。現在フル稼働、設備投資に踏み切る。（11面）

中国2カ所に実験センター

ブルー・スターR&D
ブルー・スターR&Dは、中国2カ所に超音波バリ取り洗浄装置の製品評価やデモを行う実験センターを開設する。自動車・電子機器などの部品向け。需要地に拠点。（31面）

1月28日（木）

中国一粗鋼初の10億ト

世界の56.5%／増す影響力
2020年の粗鋼生産は、前年比0.9%減の18億6400万ト。中国は5.2%増の10億5300万トで、10億トを初めて突破。世界に占める割合は56.5%で中国の影響力がますます増している。（17面）

2月2日（火）

ミャンマーでクーデター

日本企業、対応に追われる
ミャンマーで、国軍がクーデター。国軍のミン・アウン・フライン総司令官が全権を掌握。アウン・サン・スーチー国家顧問らは拘束された。進出する日本企業は対応に追われている。（1面）

2月3日（水）

ミャンマー制裁復活を示唆

クーデター／米大統領
バイデン米大統領は、ミャンマーのクーデターに制裁発動を警告。「民主化移行と法の支配への直接攻撃」と非難。対ミャンマー制裁を解除してきたが、直ちに見直す。（時事＝4面）

1月28日（木）

半導体-台湾当局に増産要請

自動車向け／半導体不足に伴う
自動車メーカーによる減産に対し、政府が台湾当局に増産要請。米国やドイツも同様の動き。需給状況の改善に各国が頭を悩ます姿が浮かぶ。（2面）

1月28日（木）

豊田合成、インド生産再編

生産子会社／経営一本化
豊田合成は、インドの生産子会社を再編する。TGMIN（エアバッグ・ゴム製品）が特分法適用会社ミンダTGLーパー（プレーキホース）を吸収合併。経営一本化を進める。（7面）

2月2日（火）

非破壊検査にベトナム人採用

ウイズソル／東南ア展開
ウイズソルは、ベトナム人5人を採用する。石油・石化プラント、発電所の非破壊検査。少子化で人材確保が難しく、ベトナム人を採用。将来は東南アジアで事業を展開。（8面）

中国・アジア ダイジェスト

日系自動車メーカー 中国新車販売	
社名	2020年
トヨタ	1,797,500 (10.9)
ホンダ	1,626,972 (4.7)
日産	1,456,738 (5.8)
マツダ	214,574 (5.8)
三菱	80,319 (43.6)
SUBARU	22,356 (11.3)

単位台。カッコ内は前年比増減率%、↑はマイナス

2月1日（月）

鉄鋼輸出7年連続減3213万ト

中国14.5%増586万ト
2020年の鉄鋼輸出は、前年比4.9%減の3213万6679トと7年連続減少。中国が14.5%増586万2847ト、台湾が8.5%増244万8545トとともに3年ぶり増加。自動車・建材向け好調。（11面）

2月2日（火）

広州でのプリキ生産撤退

日本製鉄など3社
日本製鉄、三井物産、伊藤忠丸紅鉄鋼の3社は、広州市でのプリキ合弁事業からそろって撤退した。現地合弁相手の広州高新区投資集団に売却。1997年操業、年産約20万ト。（11面）

2月4日（木）

中国の商標情報を検索

日本パテントデータ
日本パテントデータサービスは、中国の商標を検索するサービスを開始。中国で商品開発や販路を拡大する企業、特許事務所へ提供する。200社の利用契約を目指す。（8面）

2月4日（木）

ミャンマー、クーデター認定

米／援助を制限
米務省高官は、ミャンマー国軍による権力掌握について「軍事クーデターに相当」と認定した。ミャンマー政府への援助を制限する。スー・チー氏らの釈放を改めて要求。（時事＝4面）

2月5日（金）

日韓関係「改善重要」

米韓首脳／電話会談
バイデン米大統領は、韓国・文在寅大統領と電話会談。悪化が続く日韓関係をめぐり、両首脳は「日韓関係の改善と韓米日協力が地域内の平和と繁栄に重要」と一致。（時事＝2面）

2月8日（月）

UACJ、アユタヤ工場閉鎖

自動車熱交換器用押出製品
UACJは、押出製品を製造するタイ・アユタヤ工場を閉鎖する自動車熱交換器用・2輪車用押出製品などを生産し、東南アジアで販売してきた。収益改善が見込めないため。（19面）

2月8日（月）

麒麟、ミャンマー合併解消

酒類事業／国軍系ファンド
麒麟HDは、ミャンマーでの酒類事業について、国軍系の年金基金ファンドMEHPCLに合弁事業の解消を



麒麟HDのミャンマー合併「ミャンマー・フルワリー」



欧州で稼働している30トハイブリッドショベル（コマツ）

2月5日（金）

ファーウェイ制裁を支持

米次期商務長官
レモンド米次期商務長官は、米国製品や技術の輸出禁止リストから中国ファーウェイを外すべきだと「考える理由はない」と述べ、制裁を支持する考えを示した。（時事＝4面）

2月5日（金）

コマツ、中国に低燃費建機

30ト大型ショベル
コマツは、中国で30トクラスの大型ハイブリッドショベルを発売する計画を明らかにした。大型土木工事で燃費を重視する顧客に即座。コロナ禍の影響を脱し需要が伸びている。（8面）

2月8日（月）

バンドー化学、完全子会社清算

上海・東莞など移管
バンドー化学は、搬送用ベルトの加工や付帯加工を手がける上海市の完全子会社を解散、清算する。上海と東莞市にあるバンドー化学のほかの完全子会社2社に移管。（8面）

2月9日（火）

大豊工業、中国で増産

ディーゼルエンジン軸受
大豊工業は、中国で商用車用を中心にディーゼルエンジン向け軸受を拡販

2月9日（火）

インド大手銀行と提携

三菱UFJ銀
三菱UFJ銀行は、インド大手のICICI銀行と業務提携することで合意した。現地の日系企業への金融サービスを拡充。ICICI銀は総資産が約22兆円、インドに5288支店。（17面）

2月10日（水）

住友ゴム、タイヤ増産

日米タイ3工場／年380万本増
住友ゴム工業は、北米で好調な乗用車・ライトトラック用タイヤの増産体制に総額209億円を投資する。米国工場は年180万本増産。日米タイ3工場合計で年380万本増。（3面）

2月11日（木）

LINE、台湾でネット銀行

預金・個人ローン
LINEは、台湾でインターネット銀行を始める。対話アプリ「LINE」の現地利用者向けに預金や送金、デビットカード、個人ローンなど。タイで開始、インドネシアでも予定。（8面）

2月12日（金）

ミャンマーの政治懸念共有

茂木外相／米務長官
茂木敏充外相は、プリンケン米務長官と電話会談。ミャンマーの民主的な政治体制の早期回復などで懸念を共有。デモ隊への発砲を非難、民間人への暴力の停止を当局に求める。（2面）

2月12日（金）

介護福祉士候補者受け入れ

ベトナム／関税商事
関税商事は、高齢者施設でベトナムからの介護福祉士候補者の受け入れを始めた。茨城県内2カ所に4人が就業。日本の国家資格「介護福祉士」の取得を前提に従事。（4面）

「中国・アジアダイジェスト」面
次回は3月29日に掲載します。

2月16日（火）

エフテック、中国増産

自動車用足回り部品
エフテックは、自動車用足回り部品の安定供給に向け、武漢工場を塗装ラインの生産能力を約10%引き上げる。設備の一部改造。中国ではコロナ禍から急回復で完成車生産が急増。（6面）

2月17日（水）

中国念頭「恣意的な拘束」反対

カナダ／58国調印の宣言
カナダ政府は、58カ国が調印した「恣意的な拘束に反対する宣言」を公表した。特定国を名指ししていないが、中国が拘束のカナダ人2人の解放を求めている。（時事＝4面）

2月19日（金）

米-ファーウェイ排除を強化

2000億円／買い替え補助
米連邦通信委員会は、中国ファーウェイなどの製品を、米国内の通信網から排除する新規則を承認。約2000億円国内通信会社の買い替えを政府が補助する対象を広げる。（時事＝5面）

2月16日（火）

トヨタタイヤ、マレーシア閉鎖

年300万本／子会社解散
トヨタタイヤは、マレーシアのタイヤ生産を6月に終了する。工場を閉鎖し、子会社は解散する。閉鎖する工場は年産300万本に対し、直近の稼働率は6-7割程度。（6面）

2月17日（水）

八千代工業、インド増産

スズキ向け／燃料タンク
八千代工業は、インド工場を拡張する。マルチ・スズキ向けの自動車用燃料タンクの生産能力を増強。マルチ・スズキ向けに1ラインを新設し、2ライン体制を構築。（6面）

2月18日（木）

日本企業一進出・投資意欲に影

ミャンマー政変
ミャンマーには多くの日本企業が進出する。デモによる混乱や欧米などの経済制裁への懸念が広がる。長期化すれば日本企業の進出・投資意欲にも影を落とすそうだ。（深層断面＝28面）

2月19日（金）

韓国MOIDA、化粧品進出

ウィーガンマスクパック（26日4面）
シンガポールの病院と共同ラボ
島津製作所（29日19面）
ゴミ処理施設インドで受注
日立造船（2日8面）
ダバオ会議、8月に再延期
シンガポール開催（時事＝5日4面）
ミャンマー政治体制回復で一致
日豪外相／電話会談（10日2面）
日豪との4カ国連携で合意
米印首脳／電話会談（時事＝10日4面）
横河電機、地熱発電設備受注
インドネシア（16日9面）
ボスコにコークス乾式消火設備
日鉄エンジ（18日11面）

通信講座

テクニカル・イラスト
立体図面通信教育講座

基礎コース開講期間 ● 申込日より約4カ月

教育内容 ● 立体図法の90%を占めるアイソメトリックス・プロジェクト、アイソメトリック・ドロイングを中心に基礎から自社製品の作図まで徹底指導。

修了証書 ● 規定の単位を取得した受講生には日本BtoB広告協会認定の修了証書を授与します。

受講料 ● 1名 ¥30,000(会費は26,000円)(本体価格)
テキスト、副読本、用具、添削指導を含む。

定員 ● 40名

※後援/日刊工業新聞社

不況に強い「特技取得」

テクニカル・イラストレーターになるう。

いま、特技を身につけよう!!

4カ月でマスターできる、基礎から専門技術まで。

テクニカルイラストは、広告、カタログ、取扱説明書などの製作には不可欠なビジュアル。しかし、欧米に比べ、日本ではテクニカル・イラストレーターの不足が指摘されています。当協会では、基礎から専門技術までを短時間で取得できるカリキュラムを編成。多くの講座修了生が産業広告界の即戦力として活躍しています。

お問い合わせ先 第1次説明書送呈先

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町14-1 住生日本橋小網町ビル6階
TEL 03-5644-7111 FAX 03-5644-7118
http://www.bbba.or.jp

BBAA 一般社団法人 日本 BtoB 広告協会